

東大阪市 議会だより



No. 195

議会だより編集委員会

東大阪市荒本北1丁目1番1号

平成29年5月15日発行 電話06(4309)3294 FAX06(4309)3868 <http://higashiosaka.gijiroku.com/gikai/>



つじの谷は、自然の大パノラマ
(大阪府民の森・なるかわ園地)

春夏秋冬

気持ち良い日差しのもと、色鮮やかなつじに包まれます。

第1回定例会

— 3月1日～3月31日 —

**第一回定例会は会期を三十一日まで延長後、平成二十九年予算などを可決し閉会
定例会中に一般会計補正予算を専決処分**

平成二十九年第一回定例会は三月一日から三月三十一日まで、会期延長を含め三十一日間にわたって開きました。

この定例会では、市長から平成二十九年東大阪市一般会計予算など四十三案件が提案され審議しました。

三月一日には、一月十九日にご逝去されました故飯田芳春議員に対し弔意を表すため、松平要議員からの追悼の辞が述べられた後、黙祷を捧げました。

先議案件としていた七案件は、建設水道委員会の課題整理に時間を要したため、付託されていた四案件のうち、一般会計補正予算については、市長が専決処分し、その他は引き続き付託、審査を終えていた三案件は十三日に決定しました。

会期を三日間延長し、三十一日の最終日には、平成二十九年一般会計予算に対し、神野議員他五名から組み替え動議、西村議員他八名から、また小畑議員他七名からそれぞれ修正案が提出されましたが、いずれも否決しました。さらに、小畑議員他七名から政務活動費の交付に関する条例を廃止する条例が提案されましたが否決しました。

このほか、三月九日、十日、十三日には代表・個人質問合わせて十四名の議員が質疑、質問を行いました。

定例会の経過

三月一日に、平成二十八年年度の補正予算関係議案七案件を先議案件として文教、民生保健、環境経済、建設水道、総務委員会に付託しました。三月三日には建設水道以外の四委員会と建設水道委員会については、建設局関係の審査を終えました。

三月一日に、平成二十八年年度の補正予算関係議案七案件を先議案件として文教、民生保健、環境経済、建設水道、総務委員会に付託しました。三月三日には建設水道以外の四委員会と建設水道委員会については、建設局関係の審査を終えました。しかし、上下水道関係の審査に入るには、これまでの委員会の経過から、三つの課題への回答が必要な状況でありました。一つ目は、上下水道工事入札設計金額の事務手続き上のミスによる漏えいと入札手法についての問題でありました。二月九日の閉会中の委員会で、設計金額漏えいの原因及び総合評価一般競争入札の是非等を審査しており、後日の委員会審査で結論を見出そうとしておりました。しかし、

委員会の開催を待たず、二月十三日に、入札の再公告を突如行ったことにより、結論が出ていないまま審査が中断する状況となりました。二つ目は、基本構想の予算可決から既に丸三年が経過しようとしている上下水道庁舎建設の問題がありました。基本構想からプランが変更となる詳細の説明ができないことが繰り返され、事業が滞っている状況でありました。

三つ目は、上下水道局所有の遊休地の平日利用の問題がありました。使用許可書に定めのない平日利用分の使用料遡及請求についての見解が示されない状況がありました。

この三つの課題に対する責任ある回答を求めています。したが、当局からの回答は得られず審査できない事態が続き、市長は市民生活に多大な影響を与える予算を含んでいる平成二十八年一般会計補正予算(第七回)については、住民サービスの停滞を防ぐとの理由から、三月十日に専決処分しました。先議案件については、上下水道事業会計補正予算等三案件は建設水道委員会へ引き続き付託し、十三日の本会議では民生保健委員会で審査を終えていた特別会計補正予算三案件を可決、先議案件以外の議案については各委員会に付託しました。二十三日には建設水道以外の四委員会は審査を終えていましたが、建設水道委員会については、三つの課題に対する回答がなく、付託議案を審査できない状態が続く三日間の会期延長をするも、回答がなく、審議未了となりました。